



報道発表資料の配付日時 6月4日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	インターネット版 令和2年北海道森づくり研究成果発表会の実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>例年春に、森林整備や木材利用に関する研究成果、技術、活動事例の紹介などを通じ、北海道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的として、「北海道森づくり研究成果発表会」を開催しておりました。</p> <p>今年は5月14日(木)に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催を中止させていただいたところです。</p> <p>そこで、予定していた発表会の代わりに、今年の発表会に向けて準備を進めていた、口頭発表用資料、ポスター発表用掲示物をインターネット公開用に再構成し、ホームページとFacebookページにおいて、6月1日から発表しておりますのでお知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 名称 インターネット版 令和2年北海道森づくり研究成果発表会</p> <p>2 公開期間 令和2年6月1日～8月31日 (一部、6月30日までの課題があります。)</p> <p>3 発表課題等 別添資料のとおり</p> <p>4 公開アドレス ○ホームページ(道総研森林研究本部ホームページ内) https://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/event/02seika_internet.html ○Facebookページ https://www.facebook.com/moridukurihappyokai/</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 林政記者クラブ 同時レク

担当 (連絡先)	北海道水産林務部森林活用課美唄普及指導員室(担当者:神田、近) TEL 0126-66-6100
-------------	---



インターネット版 令和2年 北海道森づくり研究成果発表会

森林整備や木材利用に関する研究成果、技術、活動事例をわかりやすく紹介し、本道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的として令和2年はインターネット上で開催します。

公開期間 令和2年6月1日(月)～令和2年8月31日(月)

※一部課題は、令和2年6月1日(月)～令和2年6月30日(火)

公開URL

- **概要とプログラムがご覧頂けます。**
ホームページ：[インターネット版令和2年北海道森づくり研究成果発表会特設ページ](https://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/event/02seika_internet.html)
アドレス https://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/event/02seika_internet.html
- **口頭発表用スライド画像がご覧頂けます。**
Facebookページ：[インターネット版令和2年北海道森づくり研究成果発表会ページ](https://www.facebook.com/moridukurihappyokai/)
アドレス <https://www.facebook.com/moridukurihappyokai/>

お問い合わせ先

地独)北海道立総合研究機構 森林研究本部 企画調整部 普及グループ (森下・曳地)
〒079-0198 美幌市光珠内町東山 TEL 0126-63-4164 (内254) FAX 0126-63-4166
E-mail :forestry@hro.or.jp

一口頭発表を予定していた発表課題の紹介 - (Facebookページ)

● 一般発表

- 河川生態系に配慮した治山工事等の事例と考察について [8月31日まで公開]
北海道森林管理局網走南部森林管理署 森 孝二
- 置戸照査法試験林の施業経過報告～第Ⅷ経理期を終えて～ [8月31日まで公開]
北海道オホーツク総合振興局東部森林室森林整備課 尾関 託菜
- 希少猛禽類の生息地における施業方法について [6月22日から8月31日まで公開]
北海道十勝総合振興局森林室森林整備課 井上 昂
- モバイルカリング～9年間の実績と考察～ [6月22日から8月31日まで公開]
北海道釧路総合振興局森林室森林整備課 春田 俊輔

◆ 森林研究本部

森林研究本部の研究概要 道総研森林研究本部長 八坂 道泰

1 森林資源の循環利用のために ～林業技術～

- レーザーリモートセンシングを用いた森林計測技術の可能性 [8月31日まで公開]
林業試験場森林経営部経営G 蝦名 益仁
- カラマツヤツバキクイムシ大被害の発生要因の分析 [6月10日から8月31日まで公開]
道総研森林研究本部企画調整部企画課 小野寺賢介
- カラマツヤツバキクイムシ被害拡大抑制技術の開発 [6月10日から8月31日まで公開]
林業試験場保護種苗木保護G 徳田佐和子
- カラマツヤツバキクイムシ被害林分状況と管理方法について [6月10日から8月31日まで公開]
林業試験場森林経営部経営G 滝谷 美香

2 森林資源の循環利用のために ～木材利用技術～

- 道産針葉樹大径材の断面内の材質分布 [6月30日まで公開]
林産試験場性能部構造・環境G 松本 和茂
- CLTに適した保存処理方法の開発 [6月30日まで公開]
林産試験場性能部保存G 宮内 輝久
- 木質バイオマス燃料を乾燥する [6月30日まで公開]
林産試験場利用部バイオマスG 山田 敦

3 森の役割と森からの恵み

- 北海道胆振東部地震後の森林再生に向けた取組み [6月30日まで公開]
林業試験場森林環境部環境G 蓮井 聡
- 地域資源「タラノキ」から地域のブランド山菜をつくる話 [6月22日から8月31日まで公開]
林業試験場森林環境部樹木利用G 錦織 正智
- 牛まっしぐら！黒毛和牛に美味しいシラカンバの飼料 [6月30日まで公開]
林産試験場利用部微生物G 檜山 亮
- 道産きのこを活用した加工食品の開発 [6月30日まで公開]
林産試験場企業支援部研究調整G 津田真由美

－ポスター発表を予定していた発表課題のポスター画像－(ホームページ)

● 一般発表

下川町のヤナギ植栽地におけるエゾシカ食害の発生と回避

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所北海道支所 石原 誠
平成28年8月台風による風倒木被害の状況と復旧

北海道渡島総合振興局東部森林室森林整備課 新谷 剛
HOKKAIDO WOODによる台湾プロモーションの取組

北海道水産林務部林務局林業木材課 今廣佐和子

◆ 森林研究本部

1 森林資源の循環利用のために ～林業技術～

カラマツ類の着花に及ぼす施肥の効果

林業試験場保護種苗部育種育苗G 今 博計

森林路網における最も経済的な崩壊対策はどれ?～費用便益分析による崩壊対策の最適化～

林業試験場道南支場 津田 高明

林内路網における切土・盛土のり面崩壊・路面侵食の発生条件

林業試験場保護種苗部育種育苗G 佐藤 弘和

2 森林資源の循環利用のために ～木材利用技術～

アカエゾマツ間伐材の割れについて

林産試験場利用部資源・システムG 村上 了

トドマツ心持ち材の現状と今後について

林産試験場技術部生産技術G 土橋 英亮

防腐薬剤処理木材(カラマツ)の耐用年数は何年なの? (第2報)

－耐用年数を任意に設定する手法について－ 林産試験場性能部構造・環境G 小林 裕昇

改良された水性高分子-イソシアネート系接着剤を用いた道産CLTの生産性向上の試み

林産試験場技術部生産技術G 宮崎 淳子

道産CLT現し仕上げの建築物における断熱性と気密性

林産試験場性能部構造・環境G 今井 良

木質バイオマス燃料を乾燥する ～木チップはどこまで乾くのか?～

林産試験場利用部バイオマスG 西宮 耕栄

環境配慮型の熱処理技術により得られた木質炭化物の性質とその活用

－陽イオン交換能と炭素隔離・貯留－ 林産試験場利用部バイオマスG 本間 千晶

体育館の木質フローリングにおける割れ発生防止に向けた検討

林産試験場技術部製品開発G 高山 光子

森林の循環利用を学ぶための児童用木育ツールの開発

林産試験場技術部製品開発G 北橋 善範

3 森の役割と森からの恵み

効果的な防風保安林更新手法の提案

林業試験場道東支場 岩崎 健太

河川横断工作物の改良による溪流魚の遡上効果の検証

林業試験場森林環境部環境G 石山 信雄

過去40年間の水文・水質データから見た流域の変化～常呂川流域の事例より～

林業試験場森林環境部環境G 長坂 晶子

ライジングステージ・サンブラーによる降雨増水時の河川採水と濁り負荷量の評価

林業試験場森林環境部環境G 長坂 有

マツタケ菌根苗の迅速育成法

林産試験場利用部微生物G 宜寿次盛生